



パズルゲームなどで打ち解け合う児童生徒ら

上智大生が英語授業

室蘭小中学生84人参加

上智大学外国語学部英語学科のサマーティーチングプログラム(STP)が3日から、室蘭・海星学院高校を会場に6日間の日程で始まった。小中学生84人は、大学生が作成した教材やゲームを通じて英語に親しんでいる。

室蘭を含む全国6カ所とカンボジア・シエムリアップで同時期に開催され、室蘭での開催は今年で43年目。今回、1〜3年生の23人が来蘭した。

初日は、毎朝歌うSTPソング「Good Time」を紹介し、子どもたちと歌ったほか、児童・生徒による自己紹介やパズルゲームなどを通して親睦を深めた。

今年のSTPは、7日を除く10日まで実施。午前中は、食べ物や乗り物などの英単語や文法、日常会話などを学ぶ。学年でテキストが異なり、中学3年生向けは、高校受験対策の設問も

組み込まれている。午後は英語劇や工作、絵画制作、スポーツなどから興味のあるジャンルを選択し、コミュニケーションを取りながら学ぶことになっている。(高橋紀孝)